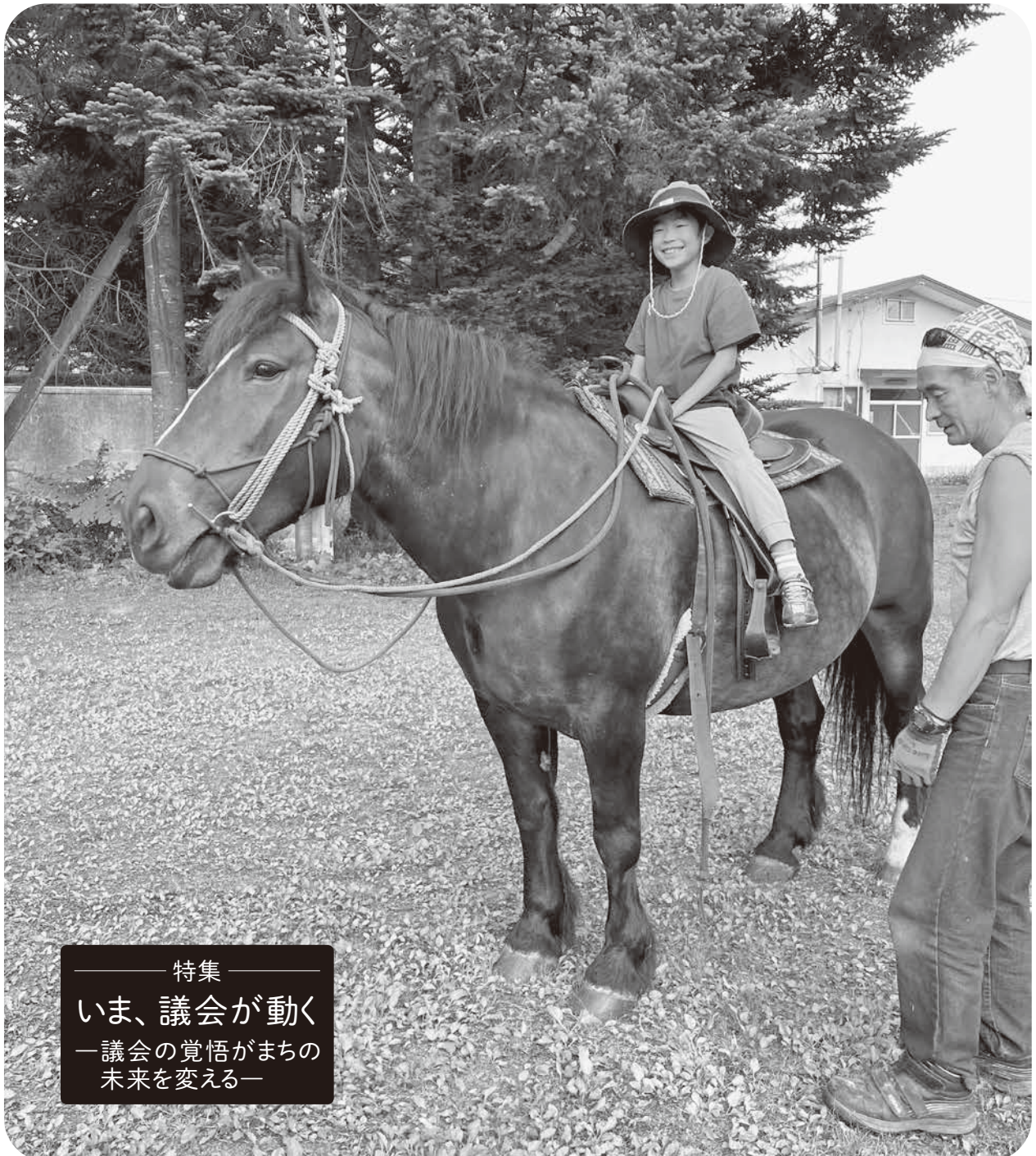


Memuro Town Assembly information

めむろ 議会だより

No.276 2025.8.12



—— 特集 ——
いま、議会が動く
— 議会の覚悟がまちの
未来を変える —

議会だよりの表紙は、
無限の可能性をイメージし
子どもを掲載しています。



町内6か所で 「議員定数と 報酬について」 話し合う

6月23日（月）から27日（金）にかけて、町内6会場で「議員定数と報酬」をテーマに、「議会報告と町民との意見交換会」を開催しました。67名の方にご参加をいただき、議会からの「素案」を説明し、その後ご意見をお聴きしました。

定数については、少人数による議決への否定意見があり、多様性の担保と町民ニーズの反映、現状の会議回数を踏まえても現行定数が妥当。現行定数維持に肯定的な意見が主でしたが、適正な議員数か否かを、町民が判断することは難しいとの意見もありました。

報酬については、活動や責務に相応する報酬が必要で、現行報酬のみでは生計維持は困難。活動の努力や成果が理解できれば報酬増はよい。素案である30〜35万円に肯定的な意見が主でした。



議会の素案

- 議員定数：14～16人（現行：16人）
- 報酬：300,000～350,000円／月（現行：204,000円）



いただいた意見の中から、新たな課題として、

- ① 議会活動の見える化の工夫
（議会だより、議会中継、ホームページなど）
- ② 主権者教育の充実
（中学生との事業など）
- ③ なり手対策の他の施策の実施
（議員養成講座、ハラスメント防止条例など）

について、議会内で共有し取り組んでいくこととしました。

今後も、議論の経過については、議会だより等を通じてお知らせしていきます。



新たな発想による「空き家」の有効活用等

- 1 空き家に関する認識と課題、展望等は。
- 2 空き家の情報発信に係る現状、課題、今後の方策は。
- 3 空き家の活用方法に係る現状、課題、今後の展望は。
- 4 空き家の利活用に係る民間事業者との連携についての現状、課題、今後の展望は。



木村淳彦(きむら あつひこ)
議員



手島 町長

- 1 空き家問題は少子高齢化や過疎化で深刻化し、防災や景観に影響しています。本町では令和6年に対策計画を策定し、調査結果から課題を把握し、抑制と有効活用に取り組んでいます。
- 2 空き家情報の発信と相談対応を強化し、所有者や利活用希望者に対して窓口案内やホームページで情報提供を行っています。地域おこし協力隊の活動により、物件情報の充実とマッチング促進を進めています。
- 3 空き家の利活用は、移住者住宅や飲食店など多岐にわたり、まちなか再生や人の流れ創出に有効です。情報収集や修繕費用が課題であり、支援制度を拡充し、所有者と利用希望者のニーズに対応していきます。
- 4 本町は、空き家情報収集やマッチングに民間事業者との連携を進めており、今後も連携強化と多様な計画に基づき、空き家対策を推進します。

一般質問を終えて
木村淳彦

空き家問題は、単なる建物管理の課題にとどまらず、人口減少、地域コミュニティの希薄化、暮らしの担い手不足といった、まち全体の未来に関わる深いテーマです。

質問を通じて、芽室町としても一定の取組や関係団体との連携が進められていることを確認しましたが、今後は、空き家を負担産ではなく地域資源として捉え、住宅活用に限らない多目的な利活用へと視野を広げ、民間や住民、若者との協働を進めていくことが不可欠だと感じました。

課題は複雑ですが、町が先頭に立って仕組みや環境を整えることで、多くの人の創意と力を引き出すことができるかと確信しています。

町が主体的に将来を見据えた空き家対策を進められることを期待します。

行政経営における地域おこし協力隊の戦略的活用と今後の展望

- 1 地域おこし協力隊の行政経営上の位置づけとこれまでの成果は。
- 2 持続可能な行政経営に向けた今後の役割と活用の展望は。



正村紀美子(まさむら きみこ)
議員



手島 町長

- 1 地域おこし協力隊は、行政課題に対応する専門人材として位置づけ、定住や起業など一定の成果がありますが、応募要件の制限や町民理解の不足が課題であり、広報や報告会を通じて認知向上を図ります。
- 2 今年度から委託形式を導入し、民間の柔軟性を活かした活用を進めています。今後はDX推進や地域プロジェクトマネージャー制度の導入も検討し、行政コスト抑制と人材確保を目指します。

一般質問を終えて
正村紀美子

地域おこし協力隊について、町長は「必要な分野に適切に配置し、戦略的に活用している」と答弁しました。人材配置に意図をもって取り組んでいることが明らかになり、協力隊が町政における重要な人材であることがわかりました。

人口減少が進むなか、限られた職員だけで町政を担うことは難しく、外部人材の力をどう生かすかが問われています。協力隊はそれぞれに専門性を持ち、職員に代わる存在としても期待できます。

一方で、制度設計や評価体制、経営的な活用面では、まだ課題も残されています。9月の決算審査では、より具体的な活用実態を確認し、今後の方向性を探っていきたいと考えています。

持続可能な地域公共交通

- 1 シャガバスの利用実態、現状、課題や今後の計画・構想は。
- 2 持続可能な町全体の地域公共交通の課題や今後の取組は。



渡辺洋一郎(わたなべ よういちろう)
議員



手島 町長

- 1 じゃがバスの利用者数はコロナ禍前に近づいています。高齢者中心の利用が多く、利便性向上と効率化を課題とし、EBPMを活用した施策や新たなサービス導入を検討しています。
- 2 本町の交通手段はJR、バス、タクシー、自家用運送などがあり、コロナや運転手不足、経費増加など課題があります。今後は新技術導入や協働を進め、安全・安心な交通インフラ整備に努めます。

一般質問を終えて
渡辺洋一郎

今回の質問では、じゃがバスをはじめとして、さまざまな視点から持続可能な公共交通について、町の考え方と今後の取組について確認することができました。

タクシー運転手不足を補う目的で、町民が有償で配車する公共ライドシェアの実証運行を、10月をめどに始めると明らかにしました。

地域公共交通は、町民の日常生活を支える基盤であるとともに、買い物、通院、交流、福祉のすべてに関わる重要な要素です。行政と住民がともに考え、より利用しやすく、持続可能な公共交通の仕組みを築いていくことが重要だと思っています。

ので、私自身もこれからも町民のみなさんの声を聴き、さまざまな調査・研究しながら注視していきたいと考えています。

多様化する移住・定住への対応

- 1 定住促進事業の成果と課題及び将来展望は。
- 2 若者が安心して暮らし、活躍できるための定住促進戦略と目標は。



菊池秀明(きくち ひであき)
議員



手島 町長

- 1 本町は人口減少と少子高齢化に直面し、定住促進や移住支援に取り組んでいます。移住者は増加傾向で、住宅取得奨励制度も拡大中です。今後も多様なニーズに応え、実効性のある施策を推進します。
- 2 本町の移住・定住促進は、人口競争ではなく交流拡大を目指し、若者や子育て世代に魅力を伝え、丁寧な相談と実体験を重視しています。

一般質問を終えて
菊池秀明

今回の一般質問では、多様化する移住・定住の対応について、これまでの取組と課題認識の確認を行い、町内全域を対象とした定住促進戦略と目標について町の考えを伺いました。

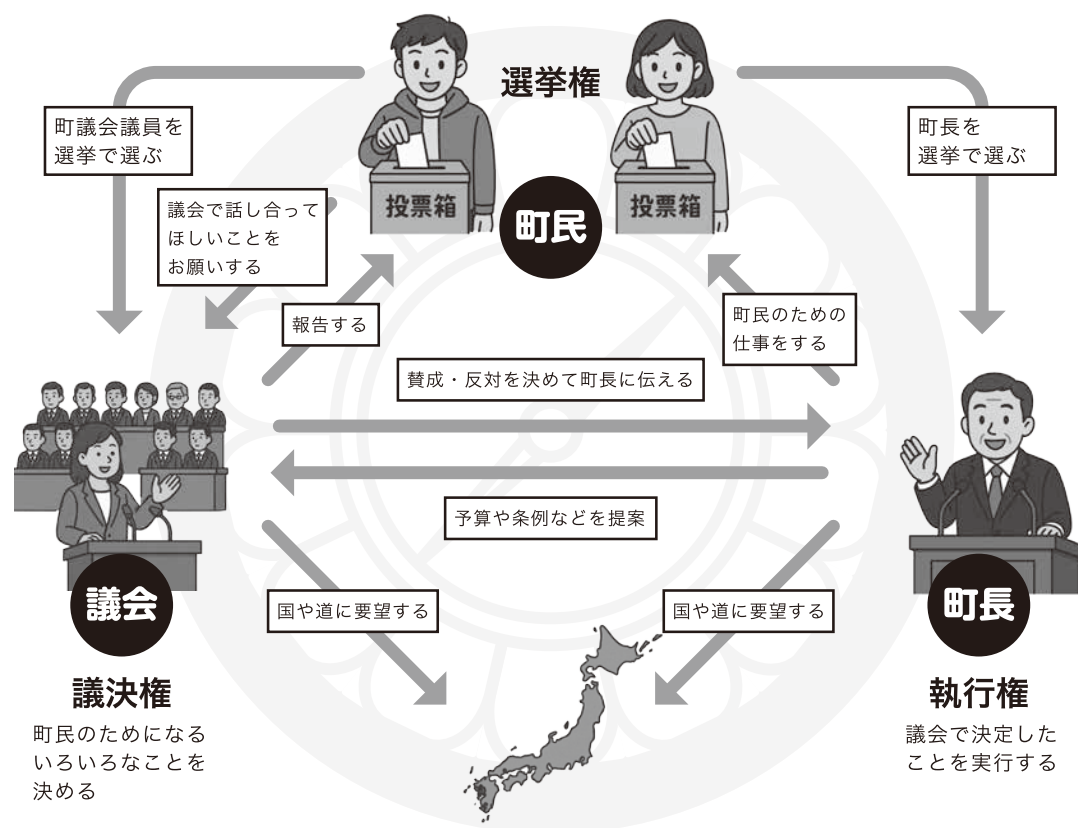
これまでの町の取組は、「定住促進プロジェクト」を設定し事業推進をしてきているとのことでした。課題としては、「ニーズにあった住宅の確保」や、「移住・定住後の仕事の確保」などがあり、関係団体との連携や、新たな助成制度の創設などに対応していくとのことでした。私からは、定住促進は単なる「人口確保」の政策ではなく、「芽室町の未来を誰が担うか」を考える重要な柱であること申し添えて、持続可能な定住政策の展開も踏まえた町長の思いを伺いました。

芽室町議会ナビ vol.1

～まちのルールづくりかた～

今年度の議会活性化策の1つである「多様な議員のなり手実現に向けた環境創出」の取り組みとして、今月号の議会だよりから町議会の仕組みや議員の仕事などについてシリーズで特集していきます。

議会ってこうだった！ - 町を動かす三角関係 -



Q1. 議員って、忙しいの？

定例会や委員会などの公務は年間約130日(役割により異なります)。さらに、調査や住民の声の聴取など、公務以外の準備活動も行っています。



Q2. 議員の仕事ってなに？

町長の提案に対し、町民の声を踏まえて議論・審議し、賛否を決めます。定例会や委員会で施策や予算を慎重にチェックし、必要に応じて条例の提案も行います。また、住民の声の把握や他地域の調査など、準備活動にも取り組んでいます。

7月の委員会活動報告 (委員が執筆しています!)

厚生文教常任委員会

●第5回 7月15日(火)

公立芽室病院の診療科目等の拡充について

心臓をはじめとする循環器疾患の患者が増加していることを受けて、専門的な知識や技術を必要とする事例が増えてきています。そのため、帯広徳洲会病院から医師を派遣していただき、毎月第2・第4金曜日の午後に「循環器内科」の外来を開設するとの説明を受けました。

委員から「病院収支が大変な時期に、採算を十分に考慮しているのか」という質疑がありましたが、「町民のニーズがあること、ハード(診察室や機材など)とソフト(看護師や検査技師など)の環境が整っていることから大丈夫である」との答弁がありました。心筋梗塞、心不全、不整脈といった心臓疾患が増えている中で、町民の健康増進が進むことを期待しています。

第1回モニター会議の意見の取扱いについて

第1回議会モニター会議で出された所管委員会及び両常任委員会に関する意見等の対応案について、「取扱いフロー」に基づき、区分を行いました。

総務経済常任委員会

●第5回 7月15日(火)

先進地事務調査について

今年度の政策課題として、「まちなか再生事業」と「協働のまちづくり活動支援事業」の2項目を抽出し、調査研究することを決定しました。

「まちなか再生事業」については、「Park-PFI」の手法・手段が「まちなか再生」や「新たな賑わいの創出」に寄与できるかどうかを主眼に調査・研究を行います。

「協働のまちづくり活動支援事業」については、時代に即した協働のまちづくり推進に向けて、地域コミュニティのあり方や地域担当職員制度について調査・研究を行います。

- 視察先 埼玉県志木市、千葉県習志野市
- 日程 10月22日(水)～24日(金)

議員 研修



北海道町村議会議員研修会(札幌市)

○日時:7月8日(火)13時00分～16時00分

○研修項目:

- 1 地方議会における議員の多彩化に向けて
ー地域社会の「鏡」としての議会を考えるー
(講師:西南学院大学 法学部 教授 勢一智子氏)
- 2 人口減少社会を生き抜くためにー地方創生2.0と町村の未来戦略ー
(講師:人口戦略会議 副議長 増田寛也氏)

今回の研修を通じて、人口減少と少子高齢化が加速する中で、地方議会が地域社会の「鏡」としての役割を果たすためには、議員の多様化が喫緊の課題であることを強く感じました。現在の町村議会では、60歳以上の男性が大半を占め、若者や女性、子育て世代の視点が十分に反映されていない現状があります。こうした中で、オンライン会議の導入や模擬議会など、先進的な取組が紹介され、住民と議会の距離を縮める工夫の重要性を学びました。また、地方創生2.0に基づく町村の未来戦略としては、稼ぐ力の強化、移住・定住促進、地域資源の再構築など多岐にわたる施策が求められており、今後の政策形成にあたっては、より広い視野と柔軟な発想をもって取り組む必要があると再認識しました。

次号にて特集! 持続可能な地方議会の存続のために(栗山町)

○日時:7月9日(水)10時00分～11時30分

○研修項目:

- 1 「議員の学校」の課題と成果について
- 2 「政務活動費」の課題と成果について
- 3 「議員定数と報酬の見直し」の検討状況について



議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット 中継 アクセス数	
		会議時間						
全員協議会	第3回	7月1日	0:00	0:09	1. 令和6年度議会白書について 2. 議会費補正予算案について 他	0	0	
		16:00～16:09						
	第4回	7月15日	0:00	0:38	1. 議員研修(7月)開催案について 2. 議会報告と町民との意見交換会総括案について 他	0	(23)	
		10:30～11:08						
常任 委員会	総務 経済	第5回	7月15日	0:00	0:10	1. 診療科目等の拡充について 2. 第1回モニター会議の意見の取扱いについて	0	(23)
		9:30～9:40						
	厚生 文教	第5回	7月15日	0:00	0:24	1. 診療科目等の拡充について 2. 第1回モニター会議の意見の取扱いについて	2	(23)
		13:30～13:54						
議会 運営 委員会	第5回	6月25日	0:03	0:26	1. 議会だより7月号の編集について 2. 議会だより8月号の編集企画について 他	1	0	
		9:30～9:59						
	第6回	7月7日	0:00	0:26	1. 議員研修(7月)開催案について 2. 議会報告と町民との意見交換会総括案について	1	3	
		13:30～13:56						
	第7回	7月17日	0:01	0:05	1. 令和7年芽室町議会定例会7月臨時会議の開催について	1	12	
		9:30～9:36						
合計		2:22	0:04	2:18		計5	平均12.3	

() 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示 ※インターネット中継を実施しなかった会議



表紙写真の裏側

芽室遺産にも認定されている夕暮れの松久園の庭園をばん馬のもも姫号と巡るツアーに参加した悠君(小学2年生)です。「もも姫号にまたがると温かくて気持ちよかった」そうですよ。

9月定例会議のご案内

3日	9:30～	初日
17日	9:30～	一般質問
18日	9:30～	一般質問
25日	9:30～	最終日



議会傍聴で芽室の未来が見える!

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

▲インターネット中継はコチラから視聴できます(過去の録画もあります)

編集後記

7月15日未明にかけて、十勝を台風5号が横断しました。二八災害(平成28年)以来です。芽室町は河川の氾濫、橋の倒壊、建物への浸水など、未曾有の災害で、その時を思い出すと身震いする思いです。今年はちようど小麦の収穫がはじまり、こういった雨は農作物に大きな影響をもたらしかねないもので、異常気象が当たり前になってしまった今日この頃、毎日続く猛暑と合わせて心配な日々です。それにしても芽室町の夏の風物詩小麦の収穫風景、今年は早かったですね。



木村 淳彦

北海道とは思えない猛暑日が続いた今年の夏でした。9月3日から9月定例会議が始まります。令和6年度の予算執行が適正に行われたのか? 町民の皆さんの生活向上につながったのか? 福祉の向上や、経済発展の向上を考えながら決算審査を行いたいと思います。ぜひ傍聴にお越しください。



鈴木 健亮

7月は議員研修や国政選挙で道内をあちこち飛び回る日々でした。帰宅が遅くなる日もありました。そんなある晩、コンビニの灯りにふらりと寄ってきたクワガタを見つけ、ふと夏の気配を感じました。どんなに忙しくても、季節は静かに、確かにめぐってきます。暑さ厳しき折、どうぞお身体を大切に過ごしてください。



菊池 秀明

LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介

スマートフォンサイト



公式X(旧Twitter) アカウント
@memuro_gikai



公式Facebookページ
https://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中!